
研究発表セッション

研究発表セッションについて

公募に応募された会員による第11回目の「研究発表セッション」を行います。自治の諸課題に取り組む現場からの実践報告、大学院生・研究者らによる研究成果などの発表を行い、大会参加者と議論を深めます。

今大会はZoomを利用し、WEB上で発表者と参加者との双方向のやり取りを行います。

各セッションの発表時間と、司会・コメンテーターにつきましては、大会申込者に配付する「大会当日資料集」において確認してください。

* 順不同（発表順ではありません）

【整理番号1】

テーマ 買い物困難地域における共同売店と移動販売の可能性

報告者 野口 暢子／長野県立大学グローバルマネジメント学部／講師

概要 買い物困難者の存在が社会問題となる中、「共同売店」や「とくし丸」のような「移動販売車」に注目が集まっている。それらは、どのような住民によって、どんな工夫によって存続し、運営されているのだろうか。「共同売店」の設置や「移動販売車」によって、買い物困難者問題の解決を考えている自治体がサポートすべきこと、集落の自治・防災・住民の見守りのような役割について、考察を行う。

【整理番号2】

テーマ 自治体におけるICT化の推進に向けて —自治体におけるICT化進展のための条件—

報告者 細野 ゆり／神奈川県政策研究センター／主事

概要 全国自治体の見方を総合すると、ICT化が思うように進まない諸要因は、①組織文化、②資源制約、③情報力・組織体制の三つに集約することができる。ICT化を積極的に進めるには、業務効率化に意欲的な組織文化を醸成することが一番重要となるが、身近なICT化の成功事例（RPAを含む）を作り、職員の経験値やICTリテラシーを上げることがその鍵となりうる。また、自治体同士の積極的な情報交換や協力も重要となる。

【整理番号3】

テーマ “地域密着型公務員”としての「地域担当職員制度」に関する研究

—コロナ禍における自治体職員と地域コミュニティとの関係に触れながら—

報告者 宇佐美 淳／自治労「次世代の研究者」育成事業研究者／法政大学大学院公共政策研究科博士後期課程修了

概要 本報告では、限られた人員、つまり、自治体職員数の中、より住民に近い立ち位置で、地域コミュニティが抱える課題を早期に把握するため、未だ全国で約3割の自治体でしか実施されていないものの、第32次地方制度調査会答申でも示された「地域担当職員制度」について、その導入や“地域密着型公務員”としての積極的活用について、今般のコロナ禍における自治体職員と地域コミュ

ニティとの関係に触れながら考察する。

【整理番号4】

テーマ 「江戸川区新庁舎建設基本構想・基本計画」の策定に関する考察

報告者 上山 肇／法政大学大学院政策創造研究科／教授

概要 江戸川区では新庁舎建設に向け、「新庁舎建設基本構想・基本計画策定委員会」を立ち上げ、今年1月に報告書が区長に手渡された。報告書では、委員会で検討した柱となる5つの基本理念とそれに基づく方針、求められる機能が示されたが、組み立ての段階でも市民を含め多くの方々の意見を取り入れながらまとめられたため、そうした方々にとっても満足度が高いものとなった。ここでは、そうした検討プロセスと内容について報告する。

【整理番号5】

テーマ 地方公共団体における関係人口創出施策の類型化に関する考察

報告者 服部 恭子／法政大学大学院 政策創造研究科／修士課程1年

概要 現在、地方圏においては人口減少や少子高齢化が進み、過疎化や地域の担い手不足が危惧されている。一方都市圏では、居住地以外の地域との関わりを希望する者が約3割存在し、今後、都市圏における潜在人口の地方活用が、地域活性化を考える上で重要なポイントと考えられる。本研究では、総務省の関係人口施策創出事業に参画している地方公共団体の施策内容を類型化し、今後の効果的かつ実効性のある施策実践のあり方を示唆した。

【整理番号6】

テーマ 観光まちづくりにおける地域資源を活かした観光政策のあり方に関する研究

－茨城県内市町村の調査・事例から－

報告者 内桶 克之／笠間市議会／議員／法政大学大学院政策創造研究科修士課程修了

概要 本研究は、観光まちづくりにおいて地域資源を活かした観光政策のあり方について、茨城県内44市町村に地域資源・観光政策の調査を行ったものである。魅力度ランキングが2019年まで7年連続最下位の茨城県であるが、茨城県内市町村は地域資源をどのように捉えて、観光政策、観光まちづくりに活かそうとしているのか。また、広域連携や公民連携による観光政策について県内での事例をあげ、今後の観光政策について考察したものである。

【整理番号7】

テーマ 婦人相談員の業務の現状と課題に関する研究

報告者 市澤 裕美／法政大学大学院政策創造研究科

概要 本研究が対象とする婦人相談員は1956年に制定された売春防止法第35条に基づき地方自治体に設置された「困難な問題を抱える女性」(売春、DV被害、人身取引被害、ストーカー被害。他家族環境の破綻、生活困窮等困難問題を抱えており保護・援助が必要なもの)への支援を行う相談員である。昨年10月から12月にかけて、「婦人相談員の業務の現状と課題」に関する全国調査を行ったためその結果を中心に報告する。(アンケート調査票448名取得)

【整理番号 8】

テーマ 都市OSを活用したまちづくりのための検討と実践

報告者 大前 裕輝／名古屋大学情報学部／学士課程 4 年

浦田 真由／名古屋大学大学院情報学研究科／講師

遠藤 守／名古屋大学大学院情報学研究科／准教授

安田 孝美／名古屋大学大学院情報学研究科／教授

概要 本研究では ICT を活用した住民視点のまちづくりを目的として、都市内外のあらゆるデータを連携させる基盤技術である都市 OS の諸分野への応用を図る。本研究室では、高山市をフィールドに ICT を活用したまちづくりを進めており、観光分野におけるデータ利活用や市役所窓口の混雑状況の可視化に取り組んだ。今後は、分析結果を市民に還元していくために、自治体関係者との対話を通して地域の課題解決に向けた取り組みを拡大していく。

【整理番号 9】

テーマ 緑化政策と協働に関する考察 –世田谷区のオープンガーデンを事例として–

報告者 衣川 智久／法政大学大学院政策創造研究科／博士後期課程 3 年

概要 世田谷区においては公私空間を活用したオープンガーデンとして「小さな森」と「3軒からはじまるガーデニング制度」の事業が区民の参加を得て実施されており、緑地保全や緑化の推進に大きな役割を果たしている。また、近隣のコミュニティ形成にも役立っている。これらの事業を持続させ、発展させるため行政、トラスト、区民による協働が求められているといえる。

【整理番号 10】

テーマ 首長任期に連動した総合計画の効果と課題

報告者 一條 義治／三鷹市／市民部長

概要 選挙による首長交代後の計画改定において、首長任期に連動した総合計画のシステムはどのような効果があり、また、どのような課題が残されたのかを検証するにあたり、「安定・長期継続的な行政管理計画」と「応答・定期変動的な信託実行計画」という 2 類型の分析モデルを提示し、この総合計画モデルを踏まえて東京都三鷹市の取り組みを考察することにより、「任期連動型総合計画」の効果と課題、そして可能性について問題提起する。

【整理番号 11】

テーマ 政務活動費による政策知識の取得に関する考察

報告者 祐野 恵／京都大学学際融合教育研究推進センター／特定助教

概要 地方議員の政務活動費を用いた政策知識の取得について、ホームページに支出明細が公開されていた 19 の中核市議会を対象とする調査・分析の内容を報告する。調査の結果、視察調査、研修受講、文献調査に頼る議員が多く、その他に多用されていたのが、公文書情報公開請求、アンケート調査、講師を招いての勉強会、大学への調査委託であった。これらについて、地域毎の差異、党派性の影響、社会経済状況等から考察した内容を報告する。

【整理番号 12】

テーマ オープンソースで作られた新型コロナウイルス対策サイトの継続的更新を左右する要因

報告者 本田 正美／関東学院大学経済経営研究所／客員研究員

概要 本研究は、東京都が公開したソースコードを基に全国で開設された新型コロナウイルス感染症対策サイトに着目する。2021 年時点で稼働中かつソースコードが公開されている GitHub 上で Commits が確認可能な事例につき、2020 年以降の Commits の推移を確認することで、断続的に更新作業が重ねられている事例と更新頻度が低い事例の二極化が起きていることが明らかとなった。そして、更新頻度を左右する要因として、更新作業に経路依存性があることを見出した。

【整理番号 13】

テーマ 新型コロナウイルス感染症に立ち向かう医療現場の記録

報告者 野崎 孝志／一般財団法人公共経営研究機構研究員・彦根市

概要 「新型コロナウイルス感染症に立ち向かう医療現場」の生々しい現実を行政職員の視点から捉え報告する。自治体職員にも、このような仕事があるのだと感じていただきたい。また、新型コロナウイルス感染症はまさしく災害である。災害医療対応の原則では CSCATTT を COVID-19 に置き換えて対応した経緯を説明する。院内の看護師が感染しても、全職員が一丸となって One team として、この難局を乗り越えた内容を報告していく。

【整理番号 14】

テーマ 公開空地は公園ではない 一川崎市中原区武蔵小杉駅周辺再開発エリアにおける問題提起

報告者 山中 佳彦／法政大学大学院政策創造研究科上山研究室／修士課程 1 年

概要 武蔵小杉駅周辺の再開発エリアにおいて、公開空地の設置分布および現地の使用状況を報告する。特にマンション私有地においては管理組合の意向により使用が制限される現状があり、その根底に費用負担の在り方について公平性の疑義があることを指摘する。将来的に持続可能な都市空間の再発展を期するため、CID（Community Improvement District）を応用した特区の設置、エリア法人の設立ならびに新たな地方税の循環可能性を模索する。

企 画 部 会 員 名 簿

	氏 名	所 属
部会長	竹 見 聖 司	丹波篠山市役所
副部会長	嶋 田 暁 文	九州大学
副部会長	山 崎 栄 子	大野城市役所
部会員	猪 狩 廣 美	聖学院大学
部会員	井 上 武 史	東洋大学
部会員	岡 田 英 幸	愛知県庁
部会員	小 塩 優 也	三重県庁
部会員	織 田 裕 志	舞鶴市役所
部会員	北 野 哲 也	公益財団法人堺市産業振興センター
部会員	黒 田 伸太郎	九州共立大学
部会員	鈴 木 伸 治	横浜市立大学
部会員	谷 本 有美子	法政大学
部会員	長谷川 裕	三重県庁
部会員	原 島 良 成	熊本大学
部会員	原 田 晃 樹	立教大学
部会員	前 田 隆 夫	西日本新聞
部会員	矢 野 由美子	東北自治体学会事務局

(参考資料) 自治体学会の開催記録

	大会名	大会テーマ	開催期日
【全国自治体政策研究交流会議】			
第1回	(横浜市)		1984. 10. 18
第2回	(浦和市)		1985. 10. 17～18
第3回	(神戸市)		1986. 7. 29
【自治体学会】			
設立総会	(横浜市)		1986. 5. 23
第1回	徳島大会	徳島で語ろう 地域の自立	1987. 8. 8
第2回	仙台大会	仙台で語ろう 地域の自立	1988. 7. 30
第3回	熊本大会	熊本で語ろう 地域の自立	1989. 9. 2
第4回	大阪大会	大阪で語ろう 市民型文化ビジョン	1990. 7. 6
第5回	北海道帯広大会	北で語ろう 七つの元気	1991. 8. 31
第6回	石川金沢大会	石川で語ろう 交流と連携	1992. 8. 29
第7回	東京大会 (八王子市)	東京多摩で自治を語る	1993. 8. 27
第8回	島根大会 (松江市)	島根で語ろう 分権の波と自治の現場	1994. 10. 28
第9回	信州上田大会	信州上田で語ろう 地域自立の戦略と自治体学	1995. 8. 25
第10回	沖縄大会 (那覇市)	吹け！分権の風、輝け！地域の個性	1996. 10. 24
第11回	群馬高崎大会	群馬からの発信 自立 参加 共生	1997. 8. 30
第12回	三重伊勢大会	ともに変えよう・ともに創ろう地方自治	1998. 8. 28
第13回	岡山倉敷大会	岡山から創ろう！自治の新世紀	1999. 8. 25
第14回	新潟長岡大会	新たな時代の創造～分権・自治、新潟からの新しい波	2000. 8. 25
第15回	北海道函館大会	21世紀・新たな風を北海道から ～みんなで創る地域の豊かさ～	2001. 8. 24
第16回	福島郡山大会	今こそ変革の時代(とき) ”ふくしま”で さがすほんとうの自治	2002. 8. 23
第17回	滋賀大津大会	ピンチをチャンスに！びわ湖からの発信 ～協働と創造で奏でる『地域自治』～	2003. 8. 29
第18回	千葉大会	明日を生き残るために、闘う自治体 ～危機に立ち向かい、時代のうねりをつくり出す～	2004. 8. 27
第19回	鳥取大会	草の根から変えよう日本の行政	2005. 8. 25
第20回	神奈川横浜大会	「市民の政府」を創る	2006. 8. 25
第21回	京都舞鶴大会	地域の輝きが国を創る ～地域主権社会が世界の未来を拓く～	2007. 8. 25
第22回	岩手盛岡大会	地域のくらしの再興から自治へ	2008. 8. 22
第23回	福井大会	転換期における地域の再生に向けて ～変革の風は地方から～	2009. 8. 21
第24回	佐賀武雄大会	「地域力が未来を拓く」 ～佐賀武雄から『維新』の風が吹く～	2010. 8. 20
緊急フォーラム	(埼玉県所沢市)	—	2011. 5. 21
第25回	第25回大会 (東京都法政大学)	「地域の未来、市民自治の再構築」	2011. 10. 9
第26回	広島大会	地域から創る日本の自治 ～広島で描くまちとむらの未来～	2012. 8. 31
第27回	静岡大会	「場の力」の発揮で地域の自立の実現 ～ふじのくに静岡からの発信～	2013. 11. 29
第28回	富山高岡大会	高志の国・富山で語り合おう！地域の活力・未来・安心 ～高い志と果敢な挑戦が創る日本の元気～	2014. 8. 22
第29回	奈良大会	人口減少時代における地域の自治と連携の力 ～歴史と文化の“まほろば”奈良で考えよう～	2015. 8. 22
第30回	おんせん県おおいた日田大会	「威宜(みなよろ)し」の地・日田で考える、人づくり・人つながり	2016. 8. 20
第31回	山梨甲府大会	富士の国やまなしで考える まちづくり ひとづくり	2017. 8. 26
第32回	青森大会	地域の財(たから)と未来づくり	2018. 8. 25
第33回	堺大会	次代の自治を創る力～自由・自治都市 堺から～	2019. 8. 23～24
第34回	大会 on the WEB	(交流会議の開催無し)	2020. 10. 10